

令和7年度栃木県脳卒中啓発プロジェクト研修会

脳卒中当事者に聞く

～これまでのこと、これからのこと～

脳卒中は栃木県民の死亡原因の第4位(8.3%)であり、本県の年間死亡者のうち約12人に1人は脳卒中が原因です。

脳卒中を発症した場合、入院やリハビリ等を余儀なくされ、それまでの生活が一変してしまいます。

今回は当事者にしか分からない経験談を共有いただきます。

脳卒中について自分事として考えるきっかけとしてみませんか？

「私にとっての生前命日とそれから

ドキュメント2013年7月5日～今」

(公社)日本脳卒中協会 脳卒中スピーカーズバンク 深澤 俊男 氏

※都合により、オンライン参加となる場合があります。

【講師プロフィール】

大阪府在住。2013年7月に脳出血を患うが、奇跡が重なり短期間で社会復帰。その後、病後うつなどの紆余曲折を経て今に至る。趣味は旅行で47都道府県の訪問&宿泊を達成、全国一の宮巡りの完遂間近。

「栃木県における脳卒中の現状と取り組み」

獨協医科大学病院脳卒中センター長

(公社)日本脳卒中協会栃木県支部長

竹川 英宏 氏

令和7(2025)年10月20日 月 14:00～15:00

栃木県庁本館6階大会議室2(宇都宮市塙田1-1-20)

定員80名

入場無料(要申込)

申込締切:10月6日(月)

※後日アーカイブ配信を実施します。視聴をご希望の方も申込が必要です。

(アーカイブ配信視聴の方は講師への質問はできません)



お申込み・
お問い合わせ先

栃木県健康増進課 がん・生活習慣病担当

電話:028-623-3095

メール:kenko-zoshin@pref.tochigi.lg.jp

URLまたは二次元コードからお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/yM7nzdTsvG>



主催 栃木県 共催 (公社) 日本脳卒中協会栃木県支部